

第3回親育ち支援地域別連絡会(中部1グループ)

令和8年7月16日(木)
場所:南国市役所 別棟2階 会議室

今年度のテーマ

AIに負けないで 先生の手話には力がある
～保護者の背景や思いを引き出すスキルを身につけよう～

内容

○交流会の流れや進め方について確認

- ・交流会の当日エピソードを共有
- ・時間配分や事前の配布物の確認
- ・アドバイザーの先生からのまとめの内容、時間設定について確認・・・等



地域リーダーより

- ・参加者同士がたくさん会話を交わし、基礎的なことについて互いに学び合うことで、それぞれの気付きや学びを自園での保育につなげていけるようにしたい。
- ・ロールプレイを通して感じたことや気付いたことを振り返り、グループ内で共有する時間を設けることで、それぞれの感じ方や考えに触れながら、学びを深められるようにしたい。
- ・子どもの育ちを保護者に伝えることは、親育ち支援につながる。その日の子どもの気付きや育ち等、園での子どもの姿を共有することが、家庭での子どもへの関わりにつながるよう、一つひとつの伝え方を大切にしたい。

アドバイザーより

- ・交流会の進め方を考える際には、当初に設定したねらいに立ち返り、「ねらいを達成するためには、どのようなことを考え、どのように取り組めばよいのか」を意識することが大切。
- ・協議を通して、参加した保育者一人ひとりが保護者の立場に立って考え、「こんなふうに聞いてもらえたらうれしいな」「こんなふうに聞いてもらえたら安心して話せるな」と感じることもできる、丁寧なやりとりの大切さについて考えてもらいたい。
- ・保護者と信頼関係を築いていくためには、言葉でのやりとりだけでなく、表情や声のかけ方、姿勢、雰囲気など、一つひとつの関わりが大切。日々の何気ない関わりについて考える機会となればと思う。

次回は 親育ち支援地域別交流会

中部1 G 親育ち支援地域リーダー作成